

平成20年度 洞爺湖有珠火山マイスター養成講座実施要領

1 目的

この要領は、平成20年度に実施する洞爺湖有珠火山マイスター養成講座（以下「養成講座」という。）について、必要な事項を定める。

2 養成講座の種類

(1) 主催講座

洞爺湖有珠火山マイスター運営委員会（以下「運営委員会」という。）が主催する養成講座

(2) 連携講座

次のいずれかの条件を満たし、運営委員会が主催講座と同等と認めた地元の登山学習会や防災講演会等。なお、別表の養成講座内容を一つ以上含むものであること。

- ① 洞爺湖有珠火山マイスター認定審査委員会の委員（以下「認定審査委員」という。）が案内する学習会等
- ② 認定審査委員のサポートを受た学習会等

3 受講対象者

(1) 主催講座

洞爺湖や有珠火山について学ぼうとする全ての人

(2) 連携講座

連携講座の主催者が定める人

4 実施方法

(1) 主催講座

講座内容は、別表によるものとし、実施時期、場所、受講申込方法、受講料、その他必要な事項はその都度定めるものとする。

(2) 連携講座

連携講座の主催者が定めるところとする。

第5 その他

- (1) 野外での養成講座の実施に当たっては、適切な補助員を配置するなど安全の確保に努めるものとする。
- (2) 運営委員会は、連携講座の効果的な実施のため、主催者の要請に応じて講座内容の調整、広報などの支援を行うものとする。

附 則

この要領は、平成 年 月 日から施行する。

洞爺湖有珠火山マイスター養成講座内容

項 目		養成講座内容	
			詳細
座学	洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性に関する専門的な知識	洞爺湖や有珠山のおいたちや特徴	洞爺湖や有珠山の地形・生い立ち、他の火山と比較した有珠山の特徴などについて理解する。
		有珠山の噴火の仕組みと噴火の歴史	噴火の仕組みや噴火の経緯・歴史、有珠山に特徴的な噴火や関連現象としての火山灰・軽石、火砕流・火砕サージ、溶岩ドーム、火山ガス、地熱活動、泥流、地殻変動、火山体崩壊、岩屑なだれ、火口などの用語やミッツダイヤグラムなどについて理解する。
		有珠山の火山活動による恵みとそれを活用した取り組み	有珠山の火山活動による恵み（温泉・観光、恵まれた土壌・漁場、地下水）について理解する。 エコミュージアム構想やジオパークの取り組みについて理解する。
		2000年噴火について	2000年噴火のあらまし、噴火後の建物・道路・人々の暮らしの変化について理解する。
		次の噴火に備えた取り組み	有珠山火山防災マップ、観測体制と情報、安全なまちづくり、火山防災の情報、避難の心得、避難先での生活、防災施設などについて理解する。
		洞爺湖や有珠火山地域の動植物など	この地域の動植物に関する基礎的知識、噴火後の植生回復の状況などについて理解する。
	野外活動に関する基礎的な知識	自然への理解・配慮	登山行動などで考えられる自然環境への悪影響などを知り、自然を適切に保全し利用するためのマナーやモラルについて理解する。
		リスクマネジメント	火山に特有な地熱帯をはじめ、危険な動物・昆虫（シカ、スズメバチ、キツネ、クモ）、自然現象（落雷、落石）など、野外活動に伴う様々な危険の発生要因と対応方法について理解する。
		野外安全行動に関する知識	気温と高度、体感温度、気象変化の特徴など、野外で安全に行動するための気象に関する基礎的事項を理解する。
		ガイド技術に関する知識	参加者に応じた対応やコミュニケーションのあり方などについて理解し、わかりやすく説明する基本話法などに関する知識を身につける。
実地	洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性に関する正確な説明	洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性について、現地で正確に説明する力を身につける。	
	気候や気象条件、参加者の特徴に対応した行動	天候の変化による行程の変更や、参加者の年齢・性別に応じた歩行速度の調節方法などを身につける。	
	参加者の特徴に対応した説明内容の組み立て	参加者の参加目的、年齢、この地域との関わりの度合いなどに応じて、工夫して説明内容を組み立てる力を身につける。	